

Tricolor

大会・公式戦結果

小4

【春季少年サッカー大会】

☆A チーム

vs FC80 洋光台	0-2●
vs FC 横浜アミザーデ	0-2●
vs たちばなキッカーズ	0-4●
vs 文庫 FC	0-6●
vs FC 隼	0-9●
vs 横浜川和 FC-B	1-0○

☆S チーム

vs 嶮山キッカーズ M	8-0○
vs 大崎 SC	10-0○
vs 一本松 SC	3-0○
vs 鴨志田第一 FC	5-0○
vs 横浜すみれ SC	0-0△

※ブロック優勝で決勝トーナメント進出

小6

【JFA U12 サッカーリーグ】

vs ニツ橋 SC	0-1●
vs 洋光台 SC	2-0○
vs 港北 FCJ	1-0○
vs 白根 SC	1-2●
vs 嶮山キッカーズ	2-0○
vs 若葉台 FC	1-1△
vs 磯子フレンズ SC	1-1△
vs FC みたけ	0-2●

JUNIOR YOUTH

【横浜市長旗杯】

vs 港北 FC	0-2●
----------	------

【県クラブジュニアユース選手権】

vs FC 厚木 JY MELLIZO	1-4●
---------------------	------

YOUTH

【日本クラブユース選手権関東予選】

vs 綾瀬 FC	5-1○
vs FC 川崎栗の木	1-7●
vs FC Gois	1-5●
vs ジェフユナイテッド市原・千葉	0-6●
vs 杉並アヤックス	3-2○

TOP

【県社会人リーグ 2部 B ブロック】

vs 相模クラブ	2-0○
vs バンデリージャ横浜	6-1○

PAPAS

☆REC

【県四十雀 4 部リーグ】

vs 川崎 OWLS	0-1●
vs dfb パフォーマーズ	1-1△
vs アトレチコ	0-0△

☆COMP

【県四十雀 3 部リーグ】

vs 茅ヶ崎クレインズ	2-1○
vs FC 中沢 40	2-0○
vs 小田原 40	0-2●
vs 浅野クラブ	0-0△

今、グラウンドでは・・・

TOP

【県リーグ開幕】

かながわクラブ TOP チームは 4 月 15 日(日)に県リーグ開幕戦を戦い、2-0 で相模クラブに勝利し、4 月 22 日(日)に第 2 節を行い 6-1 でバンデリージャ横浜に勝利しました。開幕 2 試合の結果としては申し分ありません。昨年度との違いは、昨年まで絶対的エースかつ監督であった 10 松本選手が仕事の関係でチームを離れ、今シ

ーズンからは 13 建部選手が監督兼任でチームをけん引しています。プレーイングマネージャーの労力は想像以上に大変なものなのですが、チームの柱として、また、若い選手たちのお手本としてチームをけん引してくれています。

また、新戦力として 3 野方選手の加入がかなり大きいと思います。3 年前まで TOP チームに所属していましたが、大学の体育会サッカー部でパワーアップして TOP チームへの復帰です。18 和田選手、あるいは 19 安齋選手とのセンターバック 2 枚は守備に安定感が増し、チームの戦いにも落ち着きがみられるようになりました。

課題は 10 松本選手が抜けた後の得点力です。そのためには、昨年から継続して取り組んでいるつなぐサッカーを実践し、相手を崩して得点できるようにしていきたいと思います。

まだまだ、リーグ戦が始まったばかりでこれから長い戦いが続きます。これからも TOP チームの応援よろしく願いいたします。

【オフィシャルサイト TOP チームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam.html>

(中本 洋一)

YOUTH

4 月の中旬からスタートした日本クラブユースサッカー選手権大会関東予選が終了いたしました。結果は 6 チーム中 4 位となり 3 位まで進出できる決勝トーナメントへは進むことができませんでしたが、選手たちは力を出し切りよく戦うことができていました。勝

たなくてはならない試合で 2 勝することができ、結果的に大差で負けてしまった 3 試合も随所によい部分、今までは見られなかった頑張りを見せることができ、チーム一丸となり結果以上の戦いをする事ができていました。

大会終了後には選手たち主導でミーティングを開き、これまでの取り組みを振り返り次に向けての目標を確認することができ、雰囲気は良いです。今の決意を忘れずにさらに成長できるように取り組んでいってもらいたいと思います。

6 月からはまた新たな大会がスタートします。新入部員も入ってきておりますので、この 1 か月でしっかりと準備をして、良い状態で次の大会を迎えられるよう取り組んでいきたいと思えます。

(豊田 泰弘)

JUNIOR YOUTH

この一ヶ月間は横浜市旗杯クラブ予選、日本クラブユース選手権神奈川県予選と二つの公式戦(トーナメント戦)がありました。結果はどちらの大会も残念ながら初戦敗退でしたが、どちらの対戦相手も我々より格上の相手でしたが選手たちは臆することなく堂々と戦ってくれました。選手たちにはとても感謝しております。

また、この一ヶ月間は県リーグが入らなかったことでトレーニングマッチを多く組むことができました。トレーニングマッチでは公式戦だと出場時間が短い選手たちを長い時間プレーさせることもでき、たくさんの良いプレーをみる事ができました。チームとしても

改善点への取り組みを中心に進めてまいりました。選手たちには学年にとられずに全学年全選手で競い合い毎週末のゲームでのファーストメンバーに入ることを意識して取り組んでもらいたいと思います。競い合うことで個々のレベルアップにもつながると思います。期待していきたいです。

この一ヶ月間は小 4 年生春季大会、TOP チーム県リーグを観ることができました。クラブを知ることは大事だと思っておりますのでこれからも他カテゴリーのゲームなども観ていきたいと思っております。

最後にジュニアユース保護者のみなさま、市長旗杯予選やクラブユース選手権予選、また GW 期間中のトレーニングマッチでは会場へお越しいただき応援していただき誠にありがとうございました。ご挨拶が行き届いてないこと大変申し訳なく思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

(新田 友和)

小 6

4 月の小 6 は JFA リーグの公式戦が活動の中心となりました。5 年生の市長杯以来の大会となりますが、この原稿を書いている時点で最終日の 2 試合を残すのみとなり 3 勝 3 敗 2 分という状況です。市長杯でベスト 8 を経験した選手たちは、もっと勝てると考えていたのではないのでしょうか。相手チームはこちらを研究し、何とか倒してやろうと最高のモチベーションで挑んでくる。そういった挑戦を受けるような立場というのも今まで経験したこと

のない状況だと思います。また、周りの選手が6年生になり体格がしっかりして、キック力、スピードがついてきて、今までは何となくやれてしまっていた部分が通用しなくなっているというところもあると思います。勝敗に一喜一憂するだけでなく、何ができて何が足りないのか。今回の経験を次に繋げていってほしいと思います。

試合会場までの往復や試合の合間の明るさは相変わらず最高です。この明るさを大切にしつつさらに成長していけるように取り組んでいきたいと考えております。

大会期間中は多数現地まで応援にお越しいただきありがとうございます。また、審判やテントの設営・撤収などのサポートをしていただき誠にありがとうございます。

(豊田 泰弘)

小5

【出来ることを増やそう】

5年生として活動が始まり、あっという間に1ヵ月が過ぎました。

この1ヵ月は、空中にあるボールをコントロールすることをテーマにして練習を行いました。これまでは、試合の各場面で頭や胸、臍の高さにあるボールを足を高く上げて触ろうと無理な体勢をとる選手が多く、ボールに触れず目の前の相手にボールを持たれて追いかける場面が目立っていました。試合でボールがある高さに合わせて頭、胸、腿、足を使い分けられるように、いま自分が出来ていること、出来ていないことを振り返り、知ることから始めました。たくさんボールを触り試

行錯誤しながら取り組む選手は、その日の試合で明らかにボールを触る回数が増えており、5月の区リーグでは多くの選手が以前よりも使い分けられるようになったと感じました。今後も課題に向き合いながら出来ることを増やし、得意なことを更に磨けるよう切磋琢磨できる環境をつくりたいと思います。(嘉手納 大輝)

小4

4月末よりAチーム、Sチームの2チームで、春季大会に参加しました。結果は、Aチームは1勝4敗で予選リーグ敗退、Sチームは、4勝1分けで予選リーグを1位通過することができました。

AチームSチームでそれぞれ課題はありますが、両チーム共通でまだまだ足りない部分が見えた大会になりました。

Sチームに関しては、勝ち点、得失点差ともに同点だったチームと、コイントスでの1位通過という結果にはなりますが、無失点で終わったことはとても大きな結果だと思います。

選手たちには今大会で、自分にできること、できなかったことが少しずつわかったと思います。それを、少しでもできるように練習していくこと、また得意なプレーを伸ばしていくことが、これからの課題になってきます。

Sチームは決勝トーナメントが残っていますが、4年生全体としては秋の大会に向け、基礎的な部分を含めしっかりと練習して行きたいと思います。

(菊地 健志郎)

小3

【夏の合宿について】

毎年、恒例の夏の合宿ですが、今年は今までとは異なり試合中心の合宿を検討中で、日程もこれまでの7月の最終土・日を絡めた日程ではなく、お盆の時期の実施も視野(2泊3日)に入れて、最終調整に入っています。決定次第、皆様には周知する予定です。3年生は初めての参加となります。先月も書きましたが、かながわクラブでは、第一にサッカーの技術の向上(サッカー選手として成長すること)、そして、その前提として人間的な成長を目指します。その意味においても、この合宿はサッカー三昧の3日間になりますので、毎年、サッカーの技術向上は勿論のこと、人間的にも大きく成長する子どもたちの姿が多く見られます。

特に、親元を離れての3日間は、サッカーの活動のみならず、自分の身の回りのことは全て自分でこなさなければなりません。朝起きてから夜就寝するまでを、誰の力も借りずに生活します。サッカーの活動のための準備をしたり、汚れたユニフォームを洗濯したり、食事の配膳を手伝ったり、寝具の出し入れをしたりといったことをこなすことで自立心が育まれ、親の存在の有難さも再認識することになります。また、様々な集合時刻を守ったり、就寝、起床時刻を厳守したりすることなど、一緒に生活する仲間迷惑をかけないように気を遣うことも自然と覚えていきます。

欧米では親元を離れての寄宿舎生活が子どもの自立に大きく影響す

ることが当たり前になっています。わずか3日間とはいえ、この3日間で、子どもたちは精神的にも少なからず変化を見せます。保護者の皆様の中には、親元から初めて子どもを離す不安があるのは十分理解できます。しかし、子どもたちの成長にとっては、親離れも不可欠なのです。ぜひ、合宿に参加させていただき、一回りも、二回りも成長した子どもたちの姿を、目の当たりにしてもらいたいと思っています。

【夏の朝練について…】

さて、もう一つの夏の恒例行事として、早朝のしんよこフットボールパークでの朝練があります。熱中症が危惧される夏休みの間は、暑い昼間の活動を避けて、人工芝のグラウンドで涼しい時間帯に活動し、サッカー技術の向上を目指します。塾通いや家族旅行などの予定もあるとは思いますが、この朝練にも、極力ご参加いただければと思います。期間は夏休みの前半と後半にそれぞれ1週間程度の活動予定になります。朝、妙蓮寺駅に集合し、徒歩でしんよこフットボールパークに行き、活動します。帰路は妙蓮寺駅まで電車で戻り、解散します。

夏休みに入ると乱れがちな生活習慣ですが、早起きの習慣を途切れさせないためにも、そして、涼しく、快適なグラウンドで、しっかりとサッカーの技術の習得を目指して、積極的に参加しましょう。

【平日の活動では…】

平日の活動が始まり2ヶ月が経ちました。上級生(上手な人たち)との活動の意味は以前にも書きましたが、特

に、ミニゲーム中心の平日の活動では、上級生がどのような動き、プレーをするのかをよく観察し、自分で良いと思った上級生のプレーを真似することです。「学ぶ」という言葉の語源は「真似る」→「真似ぶ」→「まなぶ」ということです。目の当たりにした上級生の良いプレーをお手本として、真似してみましょう。

夏の合宿では、更に上級学年である5、6年生とも一緒に生活し、活動をします。サッカーでは、4年生以上に良いプレーを見せてくれるはずですが、生活面では、お父様やお母様代わりになって面倒を見てくれることもあるでしょう。カテゴリーを超えた交流が図れるのもクラブチームの良さでもあります。3年生の時にしか、こうした恩恵にあずかれるチャンスは巡ってきません。平日練習にせよ合宿にせよ、異学年との交流に関して、臆せず、尻込みせず、積極的に取り組んでほしいところです。

【グラウンドでは…】

4月21日(土)のトレーニングマッチを終えて、22日(日)に子どもたちと話し合いを持ちました。そして、その反省材料として、ディフェンスの基本を身に付けさせる必要性を感じました。ディフェンスはどちらかといえば、理屈(理論的)ですので、頭で理解することが大切です。そのため、まだ、理解不十分(消化不良)の子どももいるとは思いますが、毎回、3分割したグラウンドの中で求められるディフェンスを確認しながら、4人対4人及びフルコートでのゲームの中で、練習しています。

ボールを取られたら、相手のゴールを含む3分の1では、パスコースの限定と相手のプレーを遅らせること、中盤の3分の1では、相手の足元に飛び込まずに、粘り強くバックステップをしながらミスを誘うこと、自陣ゴール前を含む3分の1では、シュートコース(ゴールの中央とボールを結んだ線上)を消しながらアプローチをし、相手のシュートには体を張って防ぐことを徹底しています。

この年代で、ディフェンスを身に付けるには多少時間がかかります(誰もがシュートを決めることに面白さを感じている時期ですから)が、ディフェンスは頭で理解することが最も大切です。時間をかけて、じっくりと子どもたちと対話をしながら練習していければと思っています。そして、トレーニングマッチを通じてその成果を確認していきます。

(佐藤 敏明)

小 2

4月28日に初めての招待試合に参加しました。妙蓮寺駅に集合した際に、電車内や道路上でのマナーや会場での挨拶について、子供達にしっかりと伝えました。

大会では、予選リーグの5試合で、1勝4敗で6チームの5位となりました。1勝できたこと、得点を決めることができたことは子供達にとっては大きな自信に繋がると思います。

順位決定戦では、相手チームより得点チャンスが多くあったのですが、なかなか点が決められなく、余裕をもって勝つことができませんでした。

大会に参加して、多数のチームが試合をする会場の雰囲気、各試合での流れを子供達一人ひとりが体感して、良い刺激を得られたと思う反面、個々の技術面で、またチームとしてのまとまりといった点で、これから改善していかなければならない点が多くありました。

今回の結果をばねに、一人ひとりが、またチームとして何が足りないのか？どういったプレースタイルのサッカーを目指すのか？これから公式戦やたくさんの TRM を経験していく中で、それらを見つけ出し、一つずつ答えを出していけるように、毎回のトレーニングでも意識を持って取り組ませていきたいと思えます。

来週から春季大会が始まります。公式戦では勝ち負けも重要ですが、子供達がどれだけ戦えるのか、良かったプレー、悪かったプレーなどを、私は重点的に見ていこうと思っています。

この1年で子供達には多くの経験が沢山できるので少しずつ成長していただきたいと思います。

(栗城 聖也)

幼児・小1

新年度の体験期間が終わりました。初回こそ参加人数が少なく心配しましたが、幼児を含めて平均20名の参加をいただき、5月中には申し込みも確定し、新たな顔触れも含めてメンバーが決まってくると期待しています。メンバーの顔や名前、プレースタイルがお互いわかってきた段階で、まずはホームグラウンド(港北小)でのトレーニングマッチ(TRM)を組んでいきます。TRMでは、当然、勝つことを目指して

試合に臨みますが、試合の勝ち負けに一喜一憂するのではなく、1人ひとりが自分の思い通りのプレーができたか、チームとして最後まで全力で戦えたかをきちんと振り返り、同時に、相手チーム/審判/両チームの保護者、そして試合会場を管理、運営してくれた人達への Respect の気持ちを持ち、再びトレーニングを行い、さらにボール扱いの技術(止める、運ぶ、蹴る)を高めて、次の TRM に臨む、という流れを作っていきます。

毎週のトレーニングでは、90分の時間内にできるだけ多くボールに触れて、ボールを運ぶ、蹴る、止める、の基本技術の向上を目指します。トレーニングの後半にはゲームを行い、相手にボールを奪われない、相手のボールを奪う、味方にパスする、味方からパスを受ける、といった、ゲーム中に起こる場面での様々なプレーを自ら判断して行えるように指導していきます。

その他、保護者様には以下の項目をご確認いただきたく、よろしくお願いいたします。

【ユニフォーム】

まだ申し込みがお済みでない方はお早めにお申し込みください。

【飲み物】

水筒等の容器内の水を凍らせておくと、高温時でも活動中に冷たいまま水分補給ができます。

【持ち物】

ボール、帽子、水筒、ジャージ、すね当て、タオル等の持ち物には必ず名前を書いてください。

【幹事さん】

毎月第1日曜日に開催される幹事会への出席、懇親会、クラブ行事などのお手伝いや保護者への連絡をお願いします。2名を募集しますが、幼児から継続されて1年生となった仁田坂さんにお引き受けいただきましたので、あと1名を募集します。お引き受けいただける方は浜野までお知らせをお願いします。

(浜野 正男)

PAPAS

【REC/COMP2018 年度リーグ戦開幕】

REC(21名)/COMP(20名)ともに2018年度リーグ戦が先月の4月8日から開幕いたしました。5月6日現在の成績は、REC(四十雀4部)0勝1敗2分 勝点2で10位、COMP(四十雀3部)2勝1敗1分 勝点7で5位、上位目指し、メンバー皆様のご協力により楽しいリーグ戦1年にしていきたいと思います。

また、去年はシニアリーグで唯一警告がなかったRECは2年連続の警告なしを目指してください。COMPですが既に2枚の警告が出ています。これ以上の警告を出さないように「心は熱く、頭は冷静」にプレーを心掛けましょう。

さてリーグ戦で試合を行うにあたり、ルール改正が行われていますので下に注意をお願いいたします。

◆JFA2018年ルール改正について

・キックオフを行う競技者以外は自陣いなければならない。

(キックオフを行う競技者は相手陣に入ってもよい)

・昨年よりペナルティエリア内でボールにチャレンジしたプレーで反則となると「退場」+PKではなく「警告」+PKでしたが、今年からは PK のみで「警告」はなしになる。ボールにチャレンジしていない「ハンド」「ホールディング」等の反則は今まで通り「警告」「退場」の対象となる。

・GKがセーブを行いオフサイドポジションの相手にボールが渡った時はオフサイドですが、DFがセーブしてもオフサイドとなる。

詳細につきましては、KSL、JFA のHPで確認をお願いいたします。

◆シニアリーグのルール確認

・試合時のシャツ出しは自由とする。(セレモニーもシャツ出しOK)

・主審が飲水タイム、クーリングブレイクの笛を吹く前に交代手続きが、完了していれば再開の笛を吹く前に交代を認める。4審は選手がベンチに引上げる前に交代を完了させる。また、4審は休息1分30秒程度でポジション復帰を促す。

・選手交代者、ボール拾いでのコーチングは NG(コーチングはベンチのみ)

・GK の負傷による手当フィールド選手との交代は主審は時間を止める。(ロスタイムあり)

・雷雨、豪雨等での試合中断/再開は主審、競技員、インスペクターの協議により決定する。

それでは、メンバーの皆様1年間大好きなサッカーを楽しみましょう。

(瀬長 義男)

ヨーガ

【イタリアへ！】

今までは海外旅行というとヨーガの修業でインドやスリランカへ行くのが中心でした。ですが今回は野菜や料理の勉強をしに、なんとイタリアへ行くこととなったのです。しかも妊婦のころからのお付き合いのママ友 6 人組です。なにもかもが新しい企画です。

最初は一体どうなることかと期待と不安でいっぱいでしたが、いざ行ってみると楽しさがさく裂！30 年もお付き合いが続いただけあって、毎日とともに過ごすことでさらに絆が強くなった感じでした。

ヨーロッパ旅行というと観光中心になりがちですが、今回のスケジュールはお料理中心。ですので、農場の中にある築 250 年以上になる一軒家に滞在です。朝は滞在場所のオーナーさんが手作りの朝食を用意してくれます。それを食べてから街へと繰り出し、きれいな街並みを楽しみながらお買い物。そして美味しいランチ。さらに食材を地元の人々の通うスーパーマーケットで仕入れて持ち帰り、イタリア料理のお教室です。夜はできあがった料理を楽しみながらワインをいただきます。

10 日間があつという間に過ぎてしまいました。何年分笑っただろうというくらいに、とにかくよく笑い、そして食べて飲みました。お蔭で私のエネルギーは満タンです。さて、このパワーを皆様にもお伝えすべく、ヨーガのクラス、頑張ります。お土産話もぜひ聞いてください。

(伊藤 玲子)

**伊藤玲子先生のCD新発売！
聴く！グナヨーガ**

聴く！
グナヨーガ
チェア

収録時間：52分
ポーズ写真入りブックレット
8ページ

聴く！
グナヨーガ
フロア

収録時間：69分
ポーズ写真入りブックレット
12ページ

★お買い求め方法
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階
 TEL: 045-432-2216
 飯田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、徒歩5分
 TEL: 045-321-3653
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。
<http://www.gunayoga.com>
 ③アマゾン(amazon)からご購入いただけます。
 ④アイチューン(iTunes)からご購入いただけます。

各 1575円(税込) 販売中



伊藤 玲子 先生

日本テレビに出演



**YOKOHAMA
ANDO
SPORTS**

アンドウスポーツ

内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税理士 **内田 泰嗣**

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号